

浜辺のいきものを観察しよう！

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2020年9月19日(土)10:00~12:00 天候：曇り

場 所：稲毛海浜公園

参加者：20名（大人13名 子ども7名）

担当指導員：田島正子 盛一昭代 平田稚江子 事務局 伊藤道男

新型コロナウイルス感染症予防対策として しばらく観察会を中止していましたが、9月に入り感染予防をしっかりとやりながらの観察会がスタートしました。本日も受付前に検温チェック・消毒などの手順がとられ、3グループに分け 少人数で移動するなど 参加者も安心して活動できるように配慮しました。

定刻までの間に皆さんに あらかじめ用意したプランクトンの観察をしてもらいました。実体顕微鏡で覗いてみると水の中を浮遊する生き物に「あ、見えた！」「あ、いるいる！」と感嘆の声が上がりました。

稲毛海浜公園は人工の浜ですが、それでも年月を経て 様々な生き物が生息するようになってきています。今日はどんな生き物に出会えるか、参加者に「浜辺の宝物さがし」というカードを渡し ☆おおきな貝殻 ☆ちいさな貝殻など 6項目を目当てに探してもらいました。浜は前日の強風のお陰で漂着したものが結構あり、色々なものが見つかりそうでした。途中、望遠鏡でじつと岩の上にいるウミネコを見てもらいました。

子どもたちは探検気分です 早速波打ち際に行き、カニを捕まえ 大はしゃぎ。ツメタガイの卵塊（砂茶碗）があちこちにあり 初めて見た方は「ゴミかと思った！」と驚きの声を上げていました。ホヤもたくさん打ち上げられていました。マテガイ・アサリ・サルボウ・シマメノウネガイなどの貝殻、そしてなんとサクラガイがピンクのきれいな二枚貝の姿であちこちに、皆さん夢中で拾っていました。素敵なお土産ができました。

まとめとして 皆さんが集めてきた生き物の解説を田島さんがして、最後にプラスチックゴミ、特に海を脅かすマイクロプラスチック(5mm以下の破片)について説明し 参加者全員でゴミ拾いをして終了しました。皆さん 本当に熱心に拾っていました。私たちを楽しませてくれる海が私たちの出すゴミで汚染されている事実に関心ではいけないと思いました。



広い浜辺であれこれ探検



指導員の説明を親子そろって熱心に